

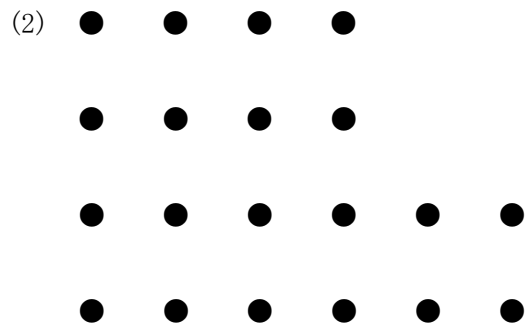
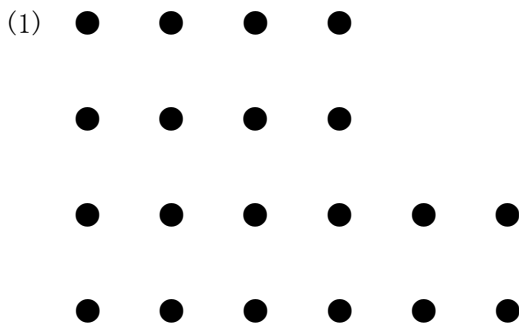
学 年

2年

かけ算 (5) ①

年 くみ 名まえ

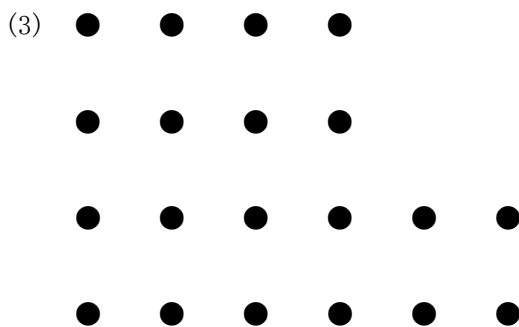
- 1 3人の おともだちが ●の数を 数えています。
3人の 考え方が わかるように、 せんで かこみましょう。



ぼくは、 4×5 と想着て、
●の数をもとめたよ。



わたしは、 4×2 と 6×2 を合わせて、
●の数をもとめたよ。



わたしは、ぬけているところに●をかいて考
えたよ。 6×4 をしてから、つけたした4を
ひいて●の数をもとめたよ。

学 年

2年

かけ算 (5) ①

年 くみ 名まえ

- 1 3人の おともだちが ●の数を 数えています。
 3人の 考え方が わかるように、 せんで かくみましょう。

(1)



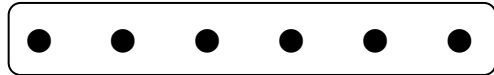
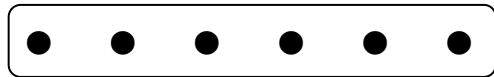
4つずつ
かくみます。



(2)



4つずつを2つ、
6つずつを2つ
かくみます。



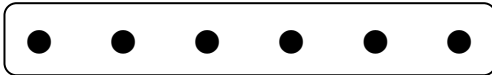
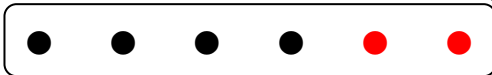
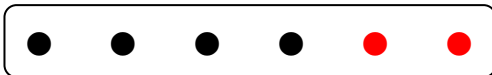
ぼくは、 4×5 とを考えて、
●の数をもとめたよ。



わたしは、 4×2 と 6×2 を合わせて、
●の数をもとめたよ。



(3)



ぬけているところに●をかくと、
6こずつかくむことができるよ。

かきたした4つの●をひくよ。

わたしは、ぬけているところに●をかいて考
えたよ。 6×4 をしてから、つけたした4を
ひいて●の数をもとめたよ。



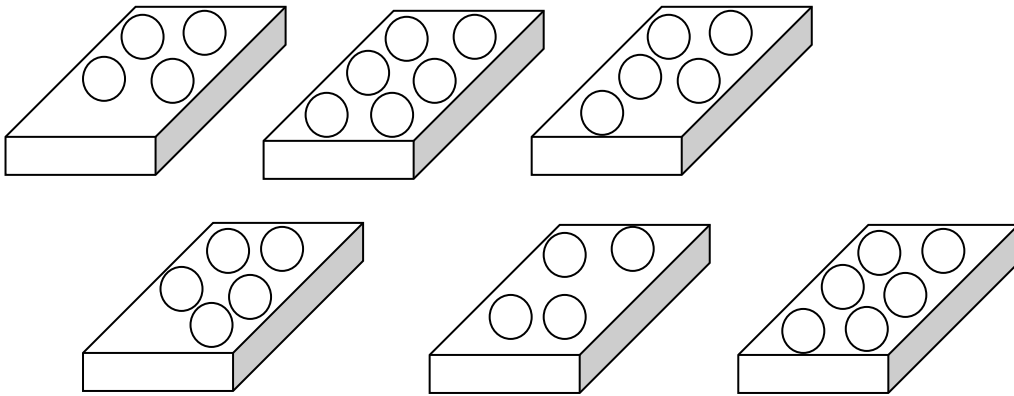
学 年

2年

かけ算 (5) ②

年 くみ 名まえ

- 1 6つの はこに、ビー玉が 入っています。



みさきさん： ビー玉は ぜんぶで 30こ だね。
わたしは $4 + 6 + 5 + 5 + 4 + 6$ をしたよ。

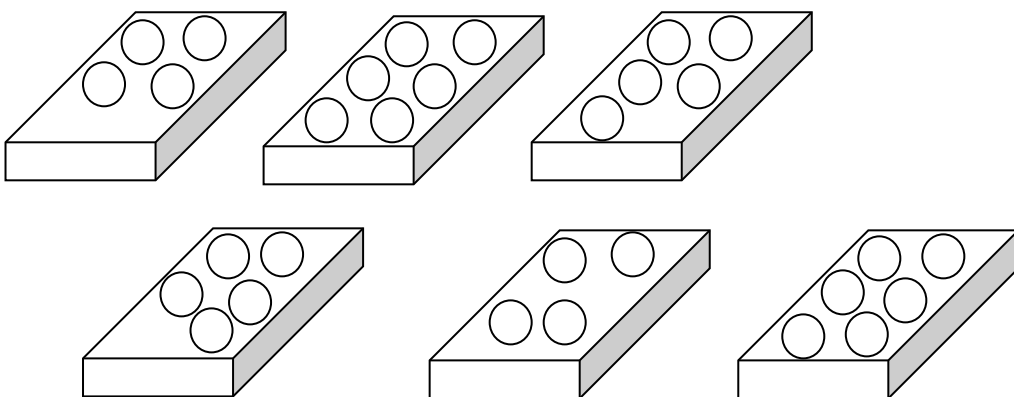
ゆりえさん： たし算でも できるね。 でも、わたしは 5×6 で 考えたよ。

みさきさん： それは できないよ。 だって、 はこの 中に 同じ数ずつ ビー玉が 入っていないから。

ゆりえさん： ビー玉を うごかして 計算したんだよ。

ゆりえさんは どのビー玉を どのように うごかしたのでしょうか。

うごかす ビー玉に 色を めって、  を かきましょう。



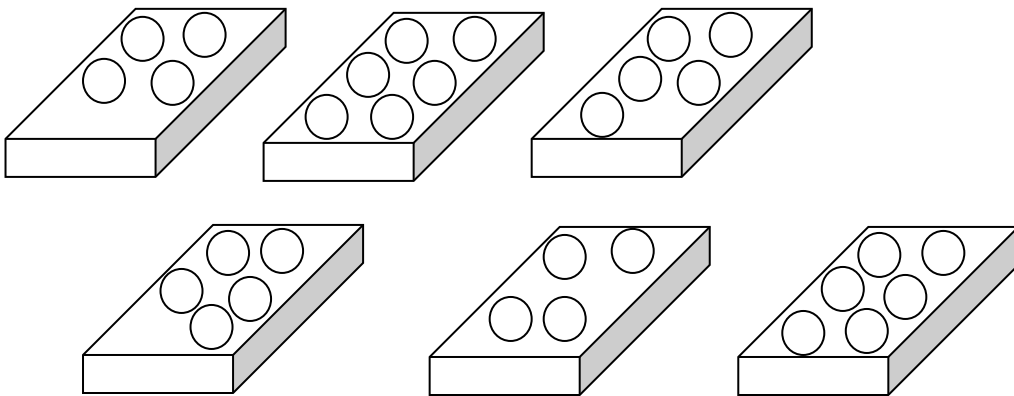
学 年

2年

かけ算 (5) ②

年 くみ 名まえ

1 6つの はこに、ビー玉が 入っています。



みさきさん： ビー玉は ぜんぶで 30こ だね。
わたしは $4 + 6 + 5 + 5 + 4 + 6$ をしたよ。

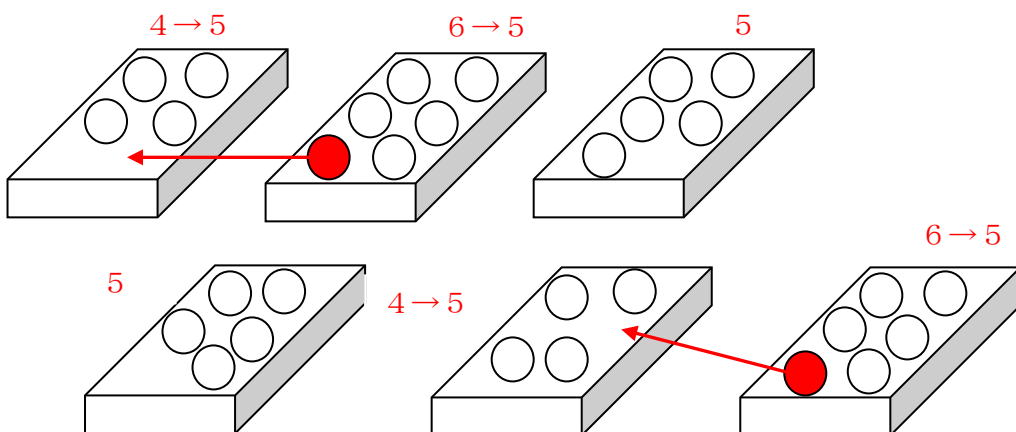
ゆりえさん： たし算でも できるね。 でも、わたしは 5×6 で 考えたよ。

みさきさん： それは できないよ。 だって、 はこの 中に 同じ数ずつ ビー玉が 入っていないから。

ゆりえさん： ビー玉を うごかして 計算したんだよ。

ゆりえさんは どのビー玉を どのように うごかしたのでしょうか。

うごかす ビー玉に 色を めって、  を かきましょう。



学 年

2年

かけ算 (5) ③

年 ぐみ 名まえ

- 1 こうたさんは、9のだんの こたえを かいていて、 9のだんの 答えに ひみつが かかれています。気づきました。 こうたさんが 見つけた ひみつを 読んで、 に あてはまる 数や ことばを かきましょう。

9×1	9
9×2	18
9×3	27
9×4	36
9×5	45
9×6	54
9×7	63
9×8	72
9×9	81

【ひみつ1】

のくらいが、

9, 8, 7, ... 3, 2, 1 と 1ずつ

へっている。

【ひみつ2】

一のくらいと 十のくらいの 数を たすと、

ぜんぶ になる。

【ひみつ2】のように くらいに ちゅうもくして、 【ひみつ3】を かきましょう。

【ひみつ3】

9に 十のくらいは ないね。十のくらいが ないということは、 十の位は 0 と 考えていいよ。



学 年

2年

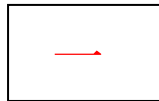
かけ算 (5) ③

年 くみ 名まえ

- 1 こうたさんは、9のだんの こたえを かいていて、 9のだんの 答えに ひみつが かかれています。気づきました。 こうたさんが 見つけた ひみつを 読んで、 に あてはまる 数や ことばを かきましょう。

9×1	9
9×2	18
9×3	27
9×4	36
9×5	45
9×6	54
9×7	63
9×8	72
9×9	81

【ひみつ1】



のくらいが、

9, 8, 7, ……3, 2, 1 と 1ずつ

へっている。

【ひみつ2】

一のくらいと 十のくらいの 数を たすと、

ぜんぶ になる。

【ひみつ2】のように くらいに ちゅうもくして、 【ひみつ3】を かきましょう。

【ひみつ3】

十のくらいが、
1, 2, 3, ……7, 8, 9 と 1ずつ
ふえている。

「9」の十のくらいが「0」と考えると、
十のくらいは、
0, 1, 2, 3 ……7, 8, 9 と 1ずつ
ふえている。

9に 十のくらいは
ないね。十のくらいが
ないということは、
十の位は 0 と
考えていいよ。



学 年

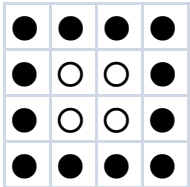
2年

かけ算 (5) ④

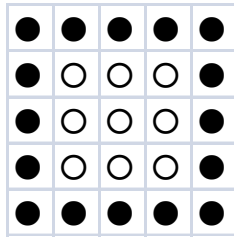
年 くみ 名まえ

1 黒と 白の ご石を きまりに そって ならべて います。

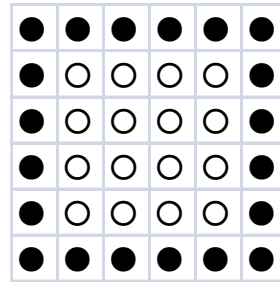
(あ)



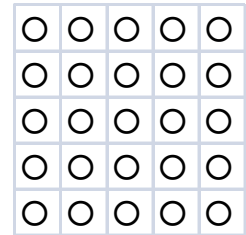
(い)



(う)



(え)



(1) (あ) (い) (う) の 白の ご石の 数を かけ算を つかって もとめましょう。

し き	白の ご石の 数
(あ)	こ
(い)	こ
(う)	こ

(2) (1) のことを つかって、(う) の 黒の ご石の 数を もとめましょう。

(しき)	黒の ご石の 数
	こ

(3) きまりに そって、(え) に 黒の ご石を ならべます。

(え) のまわりに ならべる 黒の ご石は いくつ ひつようですか。

(2) の考え方を つかって もとめましょう。

(しき)	黒の ご石の 数
	こ

学 年

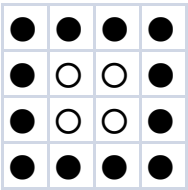
2年

かけ算 (5) ④

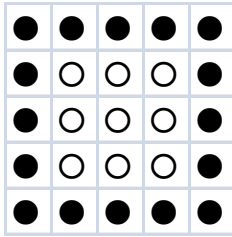
年 くみ 名まえ

1 黒と 白の ご石を きまりに そって ならべて います。

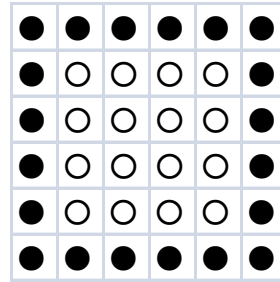
(あ)



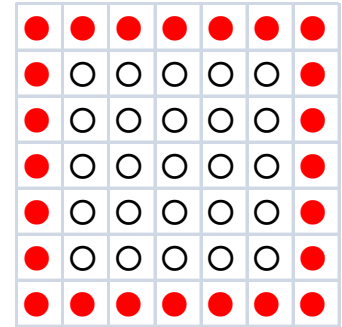
(い)



(う)



(え)



(1) (あ) (い) (う) の 白の ご石の 数を かけ算を つかって もとめましょう。

し き	白の ご石の 数
(あ) $2 \times 2 = 4$	4 こ
(い) $3 \times 3 = 9$	9 こ
(う) $4 \times 4 = 16$	16 こ

(2) (1) のことを つかって、(う) の 黒の ご石の 数を もとめましょう。

(しき) $6 \times 6 = 36$ $4 \times 4 = 16$ $36 - 16 = 20$	黒の ご石の 数 20 こ
---	----------------------

(3) きまりに そって、(え) に 黒の ご石を ならべます。

(え) のまわりに ならべる 黒の ご石は いくつ ひつようですか。

(2) の考え方を つかって もとめましょう。

(しき) $7 \times 7 = 49$ $5 \times 5 = 25$ $49 - 25 = 24$	黒の ご石の 数 24 こ
---	----------------------

学 年

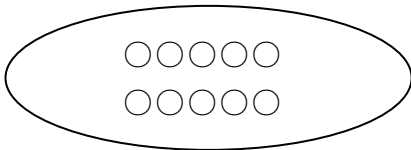
2年

かけ算 (5) ⑤

年 くみ 名まえ

1 つばささんは 九九の学習が おわって、10のだんを 自分で 作ろうと 考えています。

「9のだんは、1つのおさらに 9ずつ 入っていたから、
10だんは、10ずつ 入れれば いいな。」



(1) 10×3 に なるように、 上の絵の つづきを かきましょう。

(2) つばささんは、1つのおさらに 10ずつ \bigcirc を かいているうちに、
1円玉が 10こで 10円玉 1つに なることを 思い出しました。

「10のまとまりを $\textcircled{10}$ とかけば、 10×5 は、 $\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}$ になるな〜。」
つばささんが 思い出したことを 使って、10のだんの つづきを かきましょう。



10×9は、
 $\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}$
と かけるね。

10×1	10
10×2	
10×3	
10×4	
10×5	
10×6	
10×7	
10×8	
10×9	

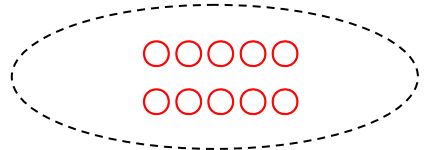
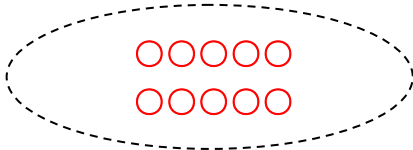
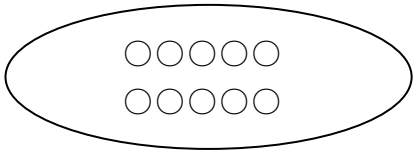
(3) 10のだんの 答えを みて、気づいたことを かきましょう。

学 年	かけ算 (5) ⑤
2年	

年 くみ 名まえ

1 つばきさんは 九九の学習が おわって、10のだんを 自分で 作ろうと 考えています。

「9のだんは、1つのおさらに 9ずつ 入っていたから、
 10だんは、10ずつ 入れれば いいな。」



(1) 10×3 に なるように、 上の絵の つづきを かきましょう。

(2) つばきさんは、1つのおさらに 10ずつ ○を かいているうちに、
 1円玉が 10こで 10円玉 1つに なることを 思い出しました。

「10のまとまりを⑩とかけば、 10×5 は、⑩⑩⑩⑩⑩になるな〜。」

つばきさんが 思い出したことを 使って、10のだんの つづきを かきましょう。



10×9は、
 ⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩
 と かけるね。

10×1	10
10×2	20
10×3	30
10×4	40
10×5	50
10×6	60
10×7	70
10×8	80
10×9	90

(3) 10のだんの 答えを みて、気づいたことを かきましょう。

- ・一のくらの 数が すべて 0 になっている。
- ・十のくらが、1, 2, 3・・・と、1ずつ ふえている。